

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23年 3月 1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103452		
法人名	有限会社美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい二葉の里		
所在地	広島市東区二葉の里2丁目5-27 (電話) 082-568-5655		
自己評価作成日	平成23年2月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	http://www.hksiks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3470103452&SCD=320
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成23年3月10日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

地域の交流を大切にし、利用者様の立場に立ったやさしい対応で利用者様の一人ひとりが安心して生き生きとした生活ができる様に心掛けています

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<ul style="list-style-type: none">・このホームでは、外出支援について特に力を入れており、年に1~2回、入居者の希望を募り、1泊2日または2泊3日で旅行を企画し、家族や職員も一緒に同行している。・終末期の対応については、看取りを行っており、重度化した場合でも、入居者、家族の希望があれば最期まで対応できる状態を医師、職員、家族などで話し合っ作りあげていることが特徴である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業独自の理念を作っている。その中の1つに地域に密着したサービスを提供すると掲げている。職員全員で共有し、実践に努めている。	22年度の法人の5つの方針を、朝の申し送りで職員が唱和し、理念の共有に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の夏祭り、とんど等 行事には積極的に参加している。又、町内会に加入しており、役員等行い、地域の一員として交流している。	町内会や地域の幼稚園の運動会に見学、参加して交流を図っている。また、近隣の神社で行う夏祭りも希望者は職員と一緒に参加し、地域の方との交流を図っている。中学生や、専門学校生の職場体験や実習なども積極的に受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議等を通して、認知症の方の支援の方法等を理解して頂ける様にお世話している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホーム内での活動内容等の報告をしたことによりサービス向上につなげている。	運営推進会議では、活動内容報告や町内の行事（敬老会など）を報告している。入居者や町内会長、包括支援センターの保健師や民生委員などは、参加しているが入居者家族の参加が無い状況である。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市主催の研修・実践指導・集団指導を通じて取組みを伝えている。アドバイスを頂いている。	広島市東区介護保険課との連携を図っており、研修などは毎回数名参加している。運営推進会議の議事録を持参する際には、情報交換なども行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修・マニュアルで学び、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> <p>また、日中は、玄関の鍵は開けている。</p> <p>身体拘束はしていない。</p> <p>「身体拘束排除宣言」を掲げ、研修を通して具体的な理解をし、取り組んでいる。</p>	<p>毎年法人全体で、年1回身体拘束についての研修を行い、各ホームより2～3名参加し、研修で学んだことを各ホームで伝達している。また、2階は階段足元にセンサーを設置し、夜間センサーが鳴ったら、職員が駆けつけられるようにしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修や・マニュアルで学び、お互いに注意を払い、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>弁護士と連携して、必要性に応じ個別に支援できるようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約内容や重要事項説明書、プライバシー同意書等について十分な説明を行い、家族及び利用者の納得・理解を確認し、契約している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>窓口を作っている。又、玄関には意見箱を設置している。管理者は面会時を利用し家族に意見を聞くようにしている。</p>	<p>意見箱を設置し、意見があった場合は、法人の事務長が駆けつけて開けて、法人全体で検討し、改善を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々の業務の中やミーティングを利用し、職員の意見を聞くようにしている。管理者は、代表者に報告し、話し合い、個々の意見が反映された業務に取り組んでいる。	年2回自己申告書の機会に、異動の希望や運営に関する意見を記入してもらい、その後随時職員と代表者が面接をする機会を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回自己申告書の機会を設けている。個々の能力に応じて、役割を与え、やりがいにつなげている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	年間プログラムを作り、研修を行っている。個々の力量に応じて社外の研修にも参加して頂いている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	キャリアパス研修やグループホーム協会の研修へ積極的に参加し、交流・意見交換を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前面接を通して利用者様の状態を把握し、要望等もよく聞き取り、信頼して頂けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前に家族の思い・要望を聞き、添えるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者と家族の要望を聞いて、双方が一番必要としている順番に柔軟な対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	一緒に過ごししながら、共に学んだり協力し合い、生活し、関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時等を利用して家族の思いを聞き、一緒に相談したり、本人と家族の絆を考えながら共に支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	可能な限り支援している。 入居前に利用していた理・美容院や病院等に行くこともある。 ホームにも気安く来て頂ける様に対応にも配慮している。	なじみの理・美容院へは、本人の希望を聴き、職員が付き添いにて行けるように支援している。また、家族や友人が訪ねて気安いように配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握しテーブルの席等を配慮している。職員が間に入ることに関わりが持っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用終了後も相談やアドバイスなど支援している。長期入院時もほぼ毎日職員が面会に行き話などを聞いている。死亡後も家族の要望を聞き、四十九日迄供養をすることもある。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の思いや意向を日々の会話の中で把握するように努めている。出来ない場合は本人の立場で検討している。	センター方式を活用し、管理者、介護支援専門員、担当職員が共同で入居者、家族の希望を聴き、意向の把握に努めている。また、4ヶ月に1回再度入居者・家族の希望を聴きとるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族、ケアマネージャー等から 以前に利用していた他のサービスや生活歴等の細かい情報を聞き、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の暮らしの中で一人一人の生活スタイルを尊重した支援が出来るよう努めている。又アセスメントに記入し個々にあったサービスを行っている。バイタル測定やいつもと違う事で状態の把握に努めている。生活全般を観察し、有する力等の現状を把握する様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、職員、家族等が話し合い、それぞれの意見・希望を取り入れながら介護計画書を作成している。</p>	<p>本人・家族の希望を基に、管理者、介護支援専門員、担当職員でカンファレンスを行い、介護計画を作成している。また、4ヶ月に1回、本人・家族を希望を聴き介護計画を見直している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常生活の様子は細かく記入し、職員同士も赤字で記入したり申し送りノートを活用している。記録は介護者の一方的な記録にならない様に細かく状態を記録するようにしている。大切なことは赤字で記入する様にしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>必要時柔軟な支援や要望に応じてデイサービスに遊びに出かける等の多機能化に向けた準備がある。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の運動会、お祭りへ参加している。民生委員の訪問、中学生や専門学校生の職場体験を受け入れている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>週1回の往診を受けている。必要時には皮膚科・耳鼻科・整形外科等へ受診の際は家族の希望を大切にしている。</p>	<p>週1回協力医療機関より往診を実施しており、以前からのかかりつけ医があれば、受診の付き添いを職員が行っている。また、認知症についての専門医の受診も職員付き添いにて行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員を常時配置し家庭医と協働している。又、介護職員は気づき等を看護師に伝え、必要時受診や看護の支援をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はほぼ毎日職員が面会に行っている。食事介助や付き添いが必要な場合にはローテーションを組んで対応している。病院関係者とは協働している		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合や終末期のあり方について家族や本人と話し合っ方針の共有と支援をしている。	入居前に、代表、管理者と家族がよく話し合い、看取りまで可能ということを伝えて同意書を交わしている。トラブル防止のため、ご家族が複数の場合は、複数の方の同意を得るようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルの作成・研修等で備えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回防災訓練を行っている。	近隣の消防署も参加して、避難訓練を年2回実施している。避難場所の確認をして迅速に避難できるようにしている。避難訓練に町内の方の参加はないが、運営推進会議などで災害時は協力してもらうよう説明している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人一人の人格を尊重し、意思や能力を把握し言葉使いに注意している。プライバシーを確保した対応をしている。	年1回新人・現任を問わず、グループ全体で接遇研修を行い、研修内容を各ホームに持ち帰り、伝達している。また、入居者の各部屋には、個人を特定できないように、苗字や名前だけの表記としている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食事や飲み物の希望を聞いたり、横になる時も聞き、自己決定出来る様に声掛けをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人の生活スタイルを把握することで希望に添った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	鏡の前で髪をとくしたり、化粧をして頂いている。行きつけの理・美容院へも行っていただいている。場所に応じ配慮し支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	一人一人の好みを把握し献立を考えている。食事の準備、片付け等その人にあった取り組みをしている。	食事の好みは、入居前に本人・ご家族に聞き取りを行い、把握している。本人の出来る能力に応じて、食事の下ごしらえや後片付けをしていただいている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事量や水分量は摂取時に記録し状態を把握できるようにしている。不足の場合は医師の処方による高カロリーの補食等個々に対応し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	声かけにて毎食後、歯磨きやうがいをして頂いている。支援の必要な方は職員が一人ひとりに応じた口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々に合ったトイレ誘導を行い、トイレでの排泄が出来る様に心掛けている。	日々の個別記録に、排泄状況を記録して排泄パターンを把握しており、トイレ誘導の声かけをしている。パット使用している方には、濡れないうちに、早めに声かけをしてトイレ誘導を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	牛乳など排泄を促す食物の摂取や、ラジオ体操・散歩といった運動により便秘の予防に努めている。排便チェック表でも確認し、必要時は医師の指示を受けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	一人一人の体調を確認し、安心した入浴をして頂いている。温度などは希望に応じる様にしている。	面会の多い日曜日以外は入浴可能である。週3回は入浴していただけるように声かけを行っている。また、ゆずやだいたいを入れたり、バラの花びらを浮かべたりして入浴が楽しくなるような工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人ひとりの生活スタイルや状況に応じて休息や安眠が出来る様に室温・寝具や衣類の清潔等の支援をしている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬の効能書きをケースに綴じ、副作用等が理解できる様に病状の変化に気をつけている。服薬時、職員が見守りや介助を行っている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	年間を通じての行事（花見、敬老会等）を楽しみにされている。料理の味を見て頂いたり、盛り付け等一人ひとりに合わせて支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	天気の良い日には散歩に出かけたり、買い物にも行っている。又、家族と一緒に出かけられる様に支援している。	日常的には、近所の幼稚園や、お寺などに散歩に行ったり、スーパーへ買い物に行っている。また、1泊2日や2泊3日にて、グループ全体で旅行を企画し、入居者、家族、職員が参加できるように配慮している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	買い物に行く時には個々に応じお金を所持して頂き、使えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	字を忘れない様に毎日書き取りをしている（住所・名前等）。希望があれば子機を渡し、電話をして頂いている。携帯を持たれている方もいる。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用部分は不快な音や刺激がない様に気をつけ、整理する様に心掛けている。季節の花を飾ったり、庭の樹木の手入れも行っている。	室内には、季節の花を飾ったり、隙間風がはいるため、温度調節には配慮している。庭には、梅の木や季節の花があり、快適に過ごされるように配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファを設置し仲の良い同士が会話されたり、又、テーブルは相性に配慮し席を決めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にはなじみの物を持ってきて頂き、利用者様にとって安心できる部屋になる様に一緒に居室作りをしている。	各居室には、以前から自宅で使用していたもの（タンス、テレビ、仏壇など）を配置し、自分の家と同じように落ち着けるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	民家改造型のため段差があるが、手すりをつけたりして利用者様が安心して活動しやすい様に工夫している。又、表札を使用している。居室前には手作りのネームプレートをかけている。トイレには分かりやすくドアに「トイレ」と書き貼っている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない